

EBETSU COLLABO NEWS

えべつ市民とえべつ市のコラボ(協働)のキーワード検索マガジン【えべつコラボニュース】(年4回発行)

2012.3



「市民の側から提案型の意見をドンドン寄せて欲しい」

2月14日(火)三好昇江別市長にお話をお聞きました。

◎お話／三好昇江別市長 ◎インタビュー／古川 淳子(江別市民活動センター長)

「あつこの部屋」今回は三好昇江別市長にお話をうかがってきました。三好市長は開口一番「江別市を安心安全に暮らせるまちにしたい。」「子ども達の安全のために小中学校の校舎の耐震化を早く進める。」と話されました。

「食」については昨年、国から指定された「北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区」に話がすすみました。江別は「食」については生産地であり、食を研究、調査する大学、研究所を備えています。江別の経済を活性化させ、近隣から人が移り住みたくなるまちにしたいという意欲溢れるお話を聞くことが出来ました。

行政では市民協働を進めています。市民に期待することはなんだろうかとお伺いしたところ、市長は「とにかく行政の施策について市民の声を聞きたい。市民の側から提案型の意見をドンドン寄せて欲しい」という要望が出されました。

行政と市民の双方向からの意見のやり取りがあってまちづくりは進むんですね。みんなで協働してまちを住みやすくしていかなければと思いました。



協働のまちづくり 活動支援事業報告会 2月18日(土)

市民活動団体の活動に市が支援を行う「協働のまちづくり活動支援事業報告会」が行われ、5つの団体が、選考会を経て1年間事業を行った成果について報告しました。コメントからは、活動の課題や今後の継続の方法などについて意見が出されました。これをきっかけとして、よりよい活動を継続して、市民参加のまちづくりが促進されることを期待しています。



多大学交流～Co.ラボのっぽ～ 1月22日(日)

野幌商店街の活性化をテーマに、大学生50名近くが集まり、意見を交わしました。市内4大学はじめ、札幌の大学生も参加、それに商店街や江別市役所、NPOなど他業種の方が見学に訪れました。学生ならではの楽しいアイデアや、大人も顔負けな鋭い意見もありました。ここで出されたアイデアの幾つかには、既に実施に向け動き出しているものもあります。野幌商店街と若者達の今後の活動に注目して下さい!



第5回江北ふれあいまつり

今年も2月26日(日)江北地区の北光小学校で行われた江北ふれあいまつりにお邪魔してきました。

今年はプログラムの内容が凄かったんだよ。外は寒かったけど雪合戦、雪中バター作りと初めての体験ができたよ。屋内でも「野菜かるた」や「フラダンス」などたのしいイベントが沢山ありました。また来年もお邪魔したいな。



えべつコラボニュース

コラボニュースのHPは、動画あり、間違い探しあり、4コママンガありの楽しい場所です。ぜひ右記のアドレスに来てみてネ!

<http://center-i.jp/collabo>

<http://center-i.jp> (江別市民活動センター・あいTEL 011-374-1460)

<http://えべつ協働なっとわーく.jp/tv/> (えべつ i's TV)